



第1回

三千人の孤児、父となった男

# 石井十次

入場  
無料

平成30年 6月7日(木)午後2時～4時30分  
山陽新聞社さん太ホール(岡山市北区柳町)

岡山は、日本の福祉の基礎を築いた先駆者を多く輩出しています。先人の足跡をたどり、その理念や事業、そして継承されるべき福祉文化を新たな研究成果とともに紹介する「シンポジウム『慈愛と福祉の先駆者たち』」。

第1回は、「児童福祉の父」と称される石井十次を取り上げます。

### 出演



社会福祉法人  
石井記念友愛社理事長

**児嶋 草次郎**

演題：石井十次の福祉  
実践を現代の福祉・教  
育に生かす



東日本国際大学教授

**菊池 義昭**

演題：石井十次の岡山  
孤児院での福祉実践か  
ら何を学ぶか



岡山映像ライブラリー  
センター

**小松原 貢**

演題：石井十次が手が  
けた日本初のドキュメン  
タリー映画



石井十次は宮崎県高鍋町に生まれ、少年期に挫折を繰り返すが、宮崎病院長の荻原百々平の勧めにより医師を志し、1882(明治15)年岡山県甲種医学校(現岡山大学医学部)に入学。4年後邑久郡上阿知村の診療所で医師の実習中、巡礼中の母親より一人の男の子を預かったことをきっかけに孤児院を創立した。そして医学を学びつつ孤児たちの世話を続けるもその両立は難しく、どちらかの道を選択しなければならなくなった十次は「医者になる者はたくさんいる。しかし、貧しく哀れな子どもたちを救済しようとする者はいま、残念だが私をおいて誰一人とない」と考え、6年間学んだ医学書に自ら火を放ち孤児救済の道を選んだ。十次は1887年、後の岡山孤児院となる孤児教育会を創立。支援者などから寄付を募って、子どもたちとともに働き、生涯で三千人に近い子どもたちを救った。

シンポジウムでは、十次の理念や事業、そして継承されるべき福祉文化を、新たな研究の成果とともに紹介し、現代の子どもへの貧困への支援など今日的課題にも迫る。



岡山孤児院・女子部ライオン館内



主婦下村と森田その他と茶臼原養蚕の作業風景

出演者プロフィール

児嶋 草次郎 (こじま そうじろう)

社会福祉法人石井記念友愛社理事長  
宮崎県生まれ。石井十次は曾祖父。1973年明治学院大学社会学部社会福祉学科卒業後、社会福祉法人石井記念友愛園(大阪)で児童指導員を務める。その後、石井記念友愛園園長、1991年石井記念友愛社理事長に就任。石井記念友愛社は現在、児童養護施設3か所、乳児院1か所、保育園10か所、障がい者通所施設1か所、老人デイサービスセンター2か所等を経営している。

菊池 義昭 (きくち よしあき)

東日本国際大学健康福祉学部教授  
栃木県生まれ。修士(地域政策)。専門は岡山孤児院史研究などの社会福祉の歴史研究。福島大学大学院地域政策科学研究科修了、共栄学園短期大学、東洋大学を経て現職。石井十次資料館研究員。現在は『石井十次資料館研究紀要』の編集などを担当。主な論文は「岡山孤児院の運営体制と養護実践の構造に関する研究」、「大正期の岡山孤児院の大原孫三郎理事の経営手法とその思想」など。

小松原 貢 (こまつばら みつぐ)

岡山映像ライブラリーセンター  
岡山市生まれ。1977年山陽放送入社。報道記者として、本社、倉敷・津山支社でニュース、ドキュメンタリー番組を担当。自ら記者カメラマンとして撮影も行った。総収蔵量25万コンテンツ余のセンターでは、自社の撮りためた映像や音声のほか、県民らから寄せられた映像なども展示。「戦争の記憶」「昔のお正月」「映像歳時記」など過去の記録映像を中心としたセミナーも行っている。

ご希望の方には「優待席」をご用意します。  
この用紙のままFaxでお申し込みください。

5月10日(木) 締切

お名前(企業名)	
〒	
ご住所	
申込人数	※2名までとさせていただきます。
ご連絡先(電話など)	
fax 086-225-5046	
優待席お申込は、ハガキ、e-mailでも受け付けます。	
◆e-mail nichiran@rsk.co.jp	
◆ハガキ宛先 〒700-8580 山陽放送内(公財)山陽放送学術文化財団	
◆申し込みは1枚(1回)につき2人迄となります。(複数応募不可)	
希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。	
「優待席のご案内」はハガキでお知らせします。	

**絶賛発売中!**

「岡山蘭学の群像1・2」

1400円+税 A5判

先人のあくなき探究心と、歴史のダイナミズムがここに!

**最寄りの書店でお求めください。**

お問い合わせは 公益財団法人 山陽放送学術文化財団《tel 086-225-5531》